

クラブ管理運営委員長 柿 本 聡

クラブ管理運営委員会では、クラブの各委員会に充実した活動ができるよう計画、支援してまいります。また現在、新型コロナウイルス感染症の収束がいつになるのか先の見えない状態で、非常に厳しい経営環境にあると思います。そんな中でのロータリー活動はどうあるべきかを模索しながら、源新和彦ガバナーのスローガン「Believe Together! 信じ合おう」と当クラブ堰野端展雄会長のテーマ「支え合い、共に歩む」に沿って進めていきたいと思っております。

会員拡大については重要な課題となりました。昨年度は、病気や高齢を理由に長く在籍していた会員が3名も退会し、今年度は会員27名からのスタートとなりました。一人でも多くの会員を増やすよう全員で取り組んで会員30名を目指してまいります。

公共イメージアップとしてホームページの充実、FACEBOOK等のSNSを活用したグローバルな情報発信も推進していきます。

(1) ロータリー情報・雑誌委員会

委員長 溝 口 奈美子 副委員長 金 沢 守 昭

- ①委員長が毎月第1週の例会において『ロータリーの友』を解説することで、世界や各地区でのロータリー活動の取り組みや現状を共有し、また掲載された記事等において個々のロータリアンが知識と情報を共有し、ロータリー活動の理解を深め、ロータリアンとしての資質の向上に努める。
- ②委員長が欠席の場合は副委員長が代行し、例会においてロータリーの友を解説する。

(2) 公共イメージ・会報・WEB委員会

委員長 大久保 一 穂 副委員長 鎌 田 秀 幸

- ①会報は当クラブは月報として、月報の充実を図ります。
- ②クラブ記録は写真記録を多用し、見る楽しさと情報の正確性に努めます。
- ③会報は欠席会員にも『ロータリーの友』といっしょに配布します。
- ④奉仕プロジェクトなどの事業が開催される情報を広報宣伝します。
- ⑤公共イメージアップのためホームページを作成し、当クラブなどの活動写真を用いて情報を発信します。また、2005年8月に開設以来、訪問者は今年6月で11,400人となりました。ホームページ作成から毎月の管理まで業者（会員事業所）に委託しています。これによりさらにレベルアップを図り、情報の発信力が高まると確信しています。

(3) 家族・親睦委員会

委員長 大下内 乙 美 副委員長 今 泉 成 一

- ①会員相互の親睦を図れるよう毎月1回夜例会を実施する。
- ②年1回おいらせRCと合同夜例会を開催する。そして毎年交互に主管し、交互に訪問交流する。
- ③年2回（上期と下期）市内3クラブ合同例会を開催し、主管クラブをサポートする。
- ④会員同士の仲間づくりを応援し、和気あいあいとした友情あふれる親睦を深め、それが会員拡大と維持につながるよう、楽しみながら活動する。

(4) ニコニコBOX・出席委員会

委員長 大竹正貴 副委員長 田中健太郎

- ①ニコニコ・ロータリー財団・米山などに、会員がすすんで貢献するように意識の啓蒙に努める。
- ②ロータリー財団や米山奨学金などは、地区の目標達成に協力する。

(地区目標：ロータリー財団1人180ドル、米山奨学金1人1万円)

そのために前半にロータリー財団と米山奨学金にそれぞれ送金し、12月末でのゼロクラブ解消に協力したい。そしてそれらの目標が達成できた段階で、自分たちのクラブのためのニコニコを集めるようにする。

2. 会員増強委員会

担当理事 白濱道義

会員増強委員長 白濱道義

新年度は「当クラブチャーターメンバー27人」からのスタートとなりました。これまで『30名突破!』を目標に掲げてまいりましたが、その30名に達したかと思ったら、残念ながら年度末に3名の退会がありました。退会理由は「高齢」と「体調不良・入院」でした。

今後も入会候補者を全会員で探し出し、その情報を共有し入会を勧めていきます。そのためにも、会員一人ひとりが楽しく、そしてロータリアンとして魅力的に活動していく事が大切です。そして、入会していただいた新会員をサポートもしっかり行い、会員維持を図ります。その一方で会員同士の親睦にも力を入れ、多様な職業分類による魅力的なクラブを目指します。

(1) 会員拡大・維持委員会

委員長 古内秀典 副委員長 布施久

今年度も『30名突破!』を合言葉に行動をしていきます。そのために全会員に、友人知人の中からロータリアン候補者を推薦して頂きます。そして私達自身が、ロータリアンとしてさらに自分を磨き「新たなメンバーを温かく迎え入れるべき和の心を持ったロータリアン」を目指して頑張りましょう。

(2) 研修・教育委員会

委員長 高村和雄 副委員長 泉武男

- ①入会1～3年目の会員を対象にロータリアンとしての意識の向上のため親睦・研修を行う。
- ②他クラブの通常例会（親睦懇親例会は除く）に参加し、特に入会3年以内の新会員に呼びかけ一緒に訪問するようにしてロータリーへの理解促進を図る。
- ③会員に地区主催のセミナー・研修会に積極的に参加するよう呼びかける。
- ④ロータリーの素晴らしさを再認識する事が会員維持に繋がる事だと信じ、地区大会や国際大会に参加するようPRに努める。

奉仕プロジェクト委員長 田 中 幹 志

当部門は職業・社会・国際と非常に幅が広く難しく考えすぎるところがありますが、実は私たちの身近なところに存在しています。職業を通じ職業人として意識して行動している事や、地域の各団体に所属し、また交流している中で役に立っている事など、すでに奉仕活動だと思えます。またロータリアンとしての行動規範「個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する」に沿って、日々ロータリアンとしての自覚を持って活動して欲しいと思えます。

我がクラブは、台湾羅東扶輪社とも姉妹提携をしており、国際交流にも積極的に取り組んでおります。今後もそれらの活動を発展させるよう努めてまいります。

(1) 職業奉仕委員会

委員長 欠 畑 茂 治 副委員長 芋 田 一 志

- ①高校生に対する『とわだ面接セミナー』事業（十和田市内3クラブ共同・地区補助金利用）
- ②例会での各メンバーの職業奉仕の卓話。
- ③講師による卓話を開催。

私達は常に『四つのテスト』を生きる上での心構えとしていかなければならないと思えます。市内の異業種の代表がロータリークラブに集い、お互いに情報交換したり、それによりインスピレーションを受けたりしながら、常に奉仕する心で職業（仕事・人生）に当たりたいと思っています。それがロータリーでいわれている「最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」につながると思えます。

(2) 社会奉仕委員会

委員長 中野渡 勝 孝 副委員長 鈴 木 陽 大

- ①三本木農業高校『命の花プロジェクト』継続支援
- ②早朝清掃奉仕の実施（2021年4月：三木野公園）
- ③『十和田東ロータリークラブ杯争奪観桜囲碁大会』の継続支援（日本棋院十和田支部と共催）
- ④小さな親切運動十和田支部継続支援
- ⑤講師による卓話を開催

(3) 国際奉仕委員会

委員長 工 藤 淳 一 副委員長 竹 島 直 樹

- ①姉妹クラブ羅東扶輪社と交流事業（相互交流並びに青少年交流事業）を開催
さらに羅東扶輪社に対しロータリー財団グローバル補助金への寄付協力を予定
- ②『END POLIO NOW』への協力
- ③十和田国際交流協会の事業支援

ロータリー財団委員長 肴 倉 治

ロータリー財団は、人道的・教育的・文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領と使命を遂行し、国際理解と平和の達成のために活動しています。寄付するということは、世界中の奉仕活動に参加する事と同じことです。2020-21年度の財団は、地区目標を達成するため年次基金150\$、ポリオプラス30\$としました。皆様のご協力をお願い致します。

(1) ポリオ委員会

委員長 白 山 春 男 副委員長 漆 畑 和 幸

ポリオ撲滅は国際ロータリーの優先課題です。この事業について、パストガバナー関場慶博年度(2000-01)から毎年、積極的にインドにおけるポリオワクチン投与活動に参加して参りました。これに賛同した日本全国から、そしてイングランド、ベルギー、アメリカ、オーストラリア、韓国等多数の外国のロータリアンも参加して、不可能とされたインドでのポリオ根絶を達成することが出来たのです。昨年度はナイジェリアでも根絶をすることが出来ました。後はパキスタン、アフガニスタンの根絶を目指すことになると思います。

当クラブでどのような協力ができるか検討し、実行に移していきたいと思います。

(2) 米山奨学生委員会

委員長 佐々木 紀 仁 副委員長 照 井 伸 良

- ①日本との交流の架け橋となるべき奨学生を支援できるよう寄付活動を推進します。
- ②米山奨学会情報や米山奨学生委員長の卓話などにより会員の啓蒙を図る。
- ③米山奨学生に卓話講師をお願いして、米山奨学会のPRをする。
- ④地区米山委員会の寄付目標に協力する。 特別寄付1万円 普通寄付3千円

戦略計画委員会

委員長(会長) 堰野端 展 雄

委員長 堰野端 展 雄 副委員長 竹 島 直 樹

- ①世界に通用するひとづくり支援事業『夢基金(ドリームファンド)』の推進。
- ②会員に理解・周知を図りながら、十和田東RC独自の支援事業を展開できるよう、ルール・運営・広報の確立に向け精査していく。

会 計

理事・会計 金 沢 守 昭

副会計 柿 本 聡 副会計 大久保 一 穂

クラブの全資金を管理保管し、会費の徴収や、予算の執行を適切かつ正確に行い、限られた予算をより有効的に活用し、魅力あるクラブ運営が推進されるように、健全な資金管理に努めます。また、会計の透明性に努め、12月の年次総会において、クラブ細則に定める通り中間及び前年度財務報告をします。

会場監督 (SAA)

理事・会場監督 佐々木 紀 仁

- ①明るくなごやかな当クラブの例会の雰囲気、今後も維持できるように努力していきたい。
- ②ビジターやゲストが気軽に当クラブの例会になじめるよう「おもてなし」をしていきたい。
- ③例会場でのマナーを守り、スムーズな運営にご協力下さい。

SAA (Sergeant at Arms) は直訳すると「鬼軍曹」だそうですが、英国王室の慣用句で守衛官をいうそうです。秩序を重んじるよう常に心配りをするのが役目です。

当クラブ例会の雰囲気「和気あいあい」をモットーに「穏やかに和やかに」活動していく所存です。

微力ではありますが精一杯努力する所存ですので、何とぞご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

青少年交換委員会 (留学生事業がある年度だけ設置)

十和田東ロータリークラブ青少年交換プログラムの経過

1984-1985	グレゴリー・C・ブルーム	米国～五戸高校 (受け入れ)
1990-1991	ソル・ブッチャー	オーストラリア～十和田工業高校 (受け入れ)
1999-2000	Rine' Anne Billings From USA RID5190 (Fallon-City Fallon RC)	米国～十和田工業高校 (受け入れ)
2000-2001	三浦由美子 To USA RID5100 (Oregon-City WestLinn RC)	三本木高校～米国 (派遣)
2004-2005	Blake Hayden Denker From Australia RID9460 (Cockburn-City Cockburn RC)	オーストラリア～十和田工業高校 (受け入れ)
2004-2005	川村 望 To USA/CANADA RID5580 (Minnesota, Detroit Lakes RC)	三本木農業高校～米国&カナダ (派遣)
2009-2010	Heidi Elisabeth SALMELA From Finland RID1410 (Kokemaki-City Kokemaki RC)	フィンランド～三本木農業高校 (受け入れ)
2009-2010	菊池つづら To Finland RID1430 (Pieksamaki-City Pieksamaki RC)	三本木農業高校～フィンランド (派遣)